

平成 29 年度

日本丸メモリアルパーク
指定管理者年間事業報告書

帆船日本丸記念財団・JTBコミュニケーションデザイン共同事業体

目 次

1	平成29年度事業概観等	2
2	帆船日本丸事業	4
3	横浜みなと博物館事業	7
4	みなとの賑わい創出事業	9
5	緑地管理・活用及び研修施設事業.....	10
6	集客増に向けた重点取組	12
7	組織運営の質的向上に向けた取組.....	14
8	管理執行体制	16
9	事業一覧表	18
10	指定管理業務の収支状況	28

1 平成29年度事業概観等

(1) 施設概要

- ア 施設名
日本丸メモリアルパーク
- イ 所在地
横浜市西区みなとみらい二丁目1番1号
- ウ 対象施設等
 - (ア) 帆船日本丸
総トン数 2,278t
 - (イ) 横浜みなと博物館
7,155.31 m²
 - (ウ) 研修施設
873 m²
 - (エ) 緑地
38,100 m²
 - (オ) その他
タワー4棟

(2) 施設管理者

- ア 共同事業体
帆船日本丸記念財団・JTBコミュニケーションデザイン共同事業体
- イ 代表団体
公益財団法人 帆船日本丸記念財団
- ウ 代表者
会長 金近 忠彦
- エ 所在地
横浜市西区みなとみらい二丁目1番1号
- オ 設立
昭和59年10月1日
- カ 指定管理者期間
平成28年4月1日～平成33年3月31日（第3期）

(3) 事業概観

平成29年度は第3期指定管理期間の2か年目であり、更なる利用者の拡大と一層のサービスの向上を目指し、職員一丸となって新たな魅力づくりとみなとの賑わい創出に向け、多様な事業に取り組みました。

その結果、横浜市との協約における29年度主要目標を全て達成するとともに、経営の効率化や効果的な執行を図りました。

特に29年度は、当施設にとって3つの大きな出来事、取組がありました。

7月17日（海の日）に、天皇皇后両陛下が帆船日本丸と横浜みなと博物館を行幸啓として御視察されました。当日は、帆船日本丸の登檣礼、総帆展帆、登舷礼と、横浜みなと博物館で開催していた企画展「国重要文化財指定記念 帆船日本丸の航跡」を御覧になりました。また、展帆ボランティアと懇談され、励ましのお言葉を賜りました。

次に、帆船日本丸は、9月15日に国の重要文化財の指定を受けました。「船員養成と国際親善や海事思想の普及に貢献」「希少なリベット構造と残存する鋼材」「記録を持つ国産初の大型ディーゼル機関」「貴重な日誌と工事関係図面を保存」の4点が評価され、海上で保存されている帆船としては、わが国初の国指定重要文化財となりました。

平成28年度に御遺族から横浜市が寄贈を受けた横浜ゆかりの画家、柳原良平氏の多彩な作品を広く紹介する国内唯一の常設展示施設「柳原良平アートミュージアム」を年度末の3月27日にオープンいたしました。

平成29年度目標項目	実績 (昨年度実績)	目標	対前年比
帆船日本丸及び横浜みなと博物館の有料入場者数	92,120人 (91,963人)	81,500人	0.2%増
日本丸メモリアルパーク利用者数	1,580,895人 (1,539,965人)	1,380,000人	2.7%増
小・中・高等学校の来校数	645校 (658校)	610校	2%減
お客様満足度	99.3% (99.6%)	97%以上	0.3ポイント減
効率的な財政運営・人材育成及び風通しの良い職場作り	推進	推進	—

参考

指定管理期間の目標（平成32年度）	
帆船日本丸及び横浜みなと博物館の有料入場者数	8万7千人
日本丸メモリアルパーク利用者数	150万人
小・中・高等学校の来校数	650校
お客様満足度	97%以上
指定管理料の削減	税抜き5%削減

2 帆船日本丸事業

帆船日本丸は船齢 88 歳となりました。国指定重要文化財として今後末永く保存するため、職員による船体の整備、美観保持作業及び帆走艤装の整備を日々継続しました。また、定期検査工事において、船体構造部材、マスト及び木甲板に関する工事を行いました。

公開事業においては帆船日本丸を活用した、お客様の参加・体験型の事業展開を図るとともに市民の皆様にも日本丸の事業活動をより理解していただけるよう努めました。加えて、重要文化財附（つかけり）の展示等、船内展示の定期的な内容更新を開始し、リピーターの確保に努めました。

平成 30 年 3 月に展帆ボランティア会員からの申し込みにより、5 年ぶりとなる日本丸船上結婚式を実施致しました。



日本丸船上結婚式

(1) 保存事業

国指定重要文化財帆船日本丸の美しい姿を末永く保存するため、次の整備を実施しました。

ア 日常保守点検

- (ア) 観覧者通路・公開区域の安全点検、整備、美観保持
- (イ) 船体鋼材の発錆部整備及び船内真鍮磨き
- (ウ) マスト、ヤードその他帆走艤装の点検・整備
- (エ) 船体木部の点検・整備

イ 年次船体整備点検・整備

- (ア) 定期検査受検工事
- (イ) 船体鋼材一部更新
- (ウ) 木甲板一部新替
- (エ) ロイヤルヤード製作及びバウスプリット木部新替工事

ウ 災害防止

- (ア) 観覧者、総帆展帆協力者及び甲板整備協力者の安全確保

(1) 船内防災センターにおける火災及び浸水並びに不法侵入者等に備えた 24 時間体制の集中監視実施



バウスプリット工事



ロイヤルヤード製作工事



帆走艀装整備作業
帆走ギア交換



帆走艀装整備作業
ワイヤー加工



帆走艀装整備作業
セイル作成



船体鋼材整備作業
発錆部手入れ

(2) 公開事業

日本丸船内を年間 293 日公開しました。公開日には、現役時代の日本丸乗船経験者（ガイドボランティア）による無料ガイドサービスを行い、お客様から好評を頂きました。また、元旦から 1 月 3 日までの間、新春特別公開を実施し、日本丸の神棚や正月飾りを公開しました。

また、展帆ボランティアの協力による総帆展帆や、満船飾を行い、普段は見ることのできない帆船日本丸の美しい姿を来場者にご覧いただきま

した。

加えて、特別イベントとして、夏休み期間中の小学生向け自由研究教室及び船長による大人向け船講座を開催しました。更に、非公開ゾーンの船内探検ツアー及び修繕工事期間中の見学会を開催することにより普段見ることのできない日本丸の姿を公開し、市民の皆様から帆船日本丸 100 年保存に対する理解を得られるように努めました。



新春特別公開
神棚・正月飾り



非公開エリア見学会
船倉



夏休み自由研究
ロープ作成

(3) 青少年錬成事業

帆船日本丸における錬成事業（海洋教室等）は、青少年が船上及び付属訓練施設において様々な体験型訓練と団体生活を行うことにより、時間厳守、公德心、体力・精神力の向上、注意力、友愛、協調性、責任感及び積極性を習得させるとともに、海・船・港に関する理解と知識の増進を図ることを目的としています。平成 29 年度は 30 回（43 日）の海洋教室を実施し、海事思想の普及を図りました。海洋教室の実施に当たっては、実施団体と事前に訓練プログラムを調整し、可能な限り参加者の希望に沿ったプログラムを実施できるよう努めました。



展帆訓練



バウスプリット渡り



カッター訓練



甲板みがき



結索訓練



船内宿泊準備

3 横浜みなと博物館事業

平成 29 年度はこどもから大人、ファミリーまでが、船や港、海に親しみ、関心を深めていただけるように、市民ボランティアとともに、展示案内や教育普及活動など体験的なプログラムを年間を通して行いました。

柳原良平作品の日本で唯一の常設展示施設である、柳原良平アートミュージアムが博物館内に 3 月 27 日オープンしました。オープン記念ウィークとして入館者への記念品配布や、3 月 31 日（土）の市民無料デーなどで、大勢のお客様をお迎えすることができました。

特別展示事業では、「東日本大震災 第 6 回石巻かほく復興写真展」、企画展「国重要文化財指定記念 帆船日本丸の航跡」、企画展「江戸へ魚を送れ！一漁場としての横浜周辺の海」、「ずっと港のまんなか 新港ふ頭展」を開催しました。それぞれの展覧会の会期中には、展示への理解をより深めていただくため、講演会やシンポジウムなどの関連事業を開催しました。



柳原良平アートミュージアム



同 テープカット



同 オープン日の会場風景



<帆船日本丸の航跡>
プレス内覧会



<江戸へ魚を送れ！>
フロアガイド



<新港ふ頭展>
フロアガイド

(1) 常設展示事業

入館者に常設展示をよりよく知り、楽しんでいただくために展示案内ボランティアによる展示案内、説明を毎日実施しました。館長が横浜の港と船などについて解説する「みなと博館長トーク」、

学芸員が常設展示を深く掘り下げて分かりやすく解説する「学芸員のワンポイント展示解説」を実施して常設展示の魅力を伝えました。

展示の充実を図るため、南本牧ふ頭や横浜に入港するクルーズ客船など展示情報の更新を適宜実施しました。

展示品のメンテナンスは、日常の職員による点検・保守や不具合の修理、定期保守点検を行い、良好な状態で見学できるよう努めました。

年度末には柳原良平アートミュージアムのオープンにあわせて、チケットカウンターや順路、館内設備等の一部を変更しました。



みなと博館長トーク

(2) 特別展示事業

特別展示事業では、帆船日本丸の国重要文化財指定にあわせて企画展「国重要文化財指定記念 帆船日本丸の航跡」を開催しました。7月17日（海の日）には天皇皇后両陛下をお迎えし、館長の案内で企画展をご覧いただきました。展示は帆船日本丸乗船者のみなさまからの資料の寄贈提供もあり、日本丸の歩みを通観する上で大変充実したものになりました。関連行事では、帆船日本丸の多様な価値についてお話しいただく、文化財と船の専門家による記念シンポジウム「近代の文化・産業遺産 帆船日本丸の重要文化財指定」、記念講演会「帆船日本丸物語」、現役当時の映像の上映と日本丸船長の解説による「映像で見る帆船日本丸の航跡」を開催しました。

秋には、横浜の漁場を江戸前の食文化とウオーターフロント開発を関連させて紹介する企画展「江戸へ魚を送れ！—漁場としての横浜周辺の海」を開催しました。関連行事として、横浜中央卸売市場を会場として「横浜の魚を体験—親子お魚料理教室」、小泉武夫東京農業大学名誉教授による記念講演会「環東京湾の魚食文化」、東京海洋大学名誉博士のさかなクンによる小学生と保護者を対象とした親子さかなクン教室「ギョギョっと！豊かな東京湾の魚たち」、金沢八景の海苔工場を見学する「横浜の漁業を知る—海苔工場見学会」を実施しました。

冬には、完成から100年となった新港ふ頭の歴史と役割の変化を紹介する「ずっと港のまんなかにも 新港ふ頭展」を開催しました。関連行事として担当学芸員の案内で新港ふ頭に残る歴史遺産をめぐる「なるほど！新港ふ頭散歩」を実施しました。

展 覧 会 名	会 期
「東日本大震災 第6回 石巻かほく復興写真展」	6月24日～7月2日
企画展「国重要文化財指定記念 帆船日本丸の航跡」	7月15日～9月3日
企画展「江戸へ魚を送れ！―漁場としての横浜周辺の海」	10月7日～11月26日
「ずっと港のまんやかに 新港ふ頭展」	2月17日～4月15日



＜帆船日本丸の航跡展＞
記念講演会



＜江戸へ魚を送れ！＞
さかなクン講演会



＜新港ふ頭展＞
新港ふ頭散歩

(3) 教育普及事業

年間を通して小・中学生及び大人を対象とした船の工作教室や海図教室など各種教育普及活動を積極的に行いました。毎年夏休みに実施している「船と港の夏休み自由研究」には、80人近い小学生の参加がありました。市内の小学校高学年向けには、海と船に親しむ活動を1年間通して行う「横浜みなとキッズクラブ」(全7回)を実施しました。



横浜みなとキッズクラブ
造船所見学会

また、入館者向けに毎週土曜日はキッズのためのクイズラリー、6月、2月の日曜日には、大人のためのクイズラリーを実施してリピーター増、入館者増に努めました。そのほか土、日、祝日に教育活動ボランティアの協力で、子どもやファミリー層などを主な対象にした船の折り紙教室やペーパークラフト教室を開催し、参加者から好評でした。

4 みなとの賑わい創出事業

(1) 水辺の事業

都心のインナーハーバーに立地する好条件を生かした、水辺に親しむ体験型事業を実施し、みなとの賑わい創出に貢献しました。

日本丸メモリアルパークの内水域及び自動車道側水域を中心に、NPO法人横浜シーフレンズと連携し、シーカヤック教室を開催しました。基本コースの半日コースに加え、新たにリピーター向けの中級コースとして、レ

スキュートレーニング講座、1日ツーリングコース、横浜港満喫ツーリングコースを始めました。また、神奈川大学、横浜国立大学、横浜市立大学、放送大学との連携教室を開催しました。(計98回開催、のべ965名参加)

横浜市カヌー協会・NPO法人横浜カヌー倶楽部と連携したカヌーポロ教室は、子ども向けに加え、おとな向けも始めました。(計10回開催、92名参加)

10月28日(土)(雨天の為翌日は中止)に実施した第6回「帆船日本丸杯カヌーポロ大会」は、12チーム、83名の参加がありました。日本丸カヌーポロ教室から初めてこどものチームが試合に参加しました。



シーカヤック教室



カヌーポロ教室

(2) パーク利用事業 (イベント)

市民交流・リサイクル事業としてのフリーマーケット、吹奏楽演奏会をはじめとする音楽イベントなどを定期的に開催しました。

夏のピカチュウイベントやみなとみらい21 さくらフェスタ 2017 などみなとみらい21地区のイベントに積極的に参加しました。

また、初めて芝生広場でウェディングを実施するなど、年間を通じてパークの有効活用を進め賑わいの創出を図りました。



夏のピカチュウイベント



芝生広場で初めてのウェディングを実施

5 緑地管理・活用及び研修施設事業

(1) 緑地の維持管理・活用

ア 安全管理

パーク内歩行者の安全を確保するため、車両通行路の見直しを行いました。これに併せて、パーク内2か所にカーブミラーを設置しました。



歩行者を守るカーブミラー設置

また、老朽化により破損したパーク床タイルを計画的に補修し、つまずきの危険を排除しました。

大岡川沿いプロムナード及びドック周りの腐食手摺は落下の危険があることから総点検を行い、腐食破損部の固定と塗裝修繕を行いました。

ワシントンヤシをはじめとする高木の枯れ枝剪定を実施し、落下による事故の危険を排除しました。また、樹木の幹に発生した腐敗を早期に発見、伐採により倒木を防ぎました。



ワシントンヤシの剪定

イ 環境管理

お客様に快適に見学していただくため、年間を通じてパーク内に水耕プランター60個を配置しました。また、花壇の整備では、さくら通り歩道に横浜市が設置した企業協賛花壇（みなとみらい21ふれあい花壇）の草花の購入や植え付け、維持管理を行い、グリーンボランティアとともに地域環境の美化改善に貢献しました。



まちかど花壇

ウ 撮影

緑地を利用したCM撮影、テレビドラマ、イベントなどの撮影で合計210件(前年比153%)のご利用いただきました。



CM撮影風景

(2) 研修施設（訓練センター）の管理運営

利用者ニーズに対応した改善

本施設は駅からのアクセスも良く、利用者から好評を得ています。



利用風景

お客様の声に対応し、29年度は、利用者から希望が多かった予約受付期間を改定し、半年前から受け付けられるように変更しました。

また、プロジェクターの更新や無料Wi-Fiの設

置,案内用パンフレットを作成するなど利便性向上に努めた結果、利用料金では前年度比106%となりました。

6 集客増に向けた重点取組

主な取組は、次のとおりです。

(1) 共同事業体を構成している株式会社JTBコミュニケーションデザイン(以下「JCD」という。)と連携した取組

毎月、月次決算を活用した魅力づくり集客アップ推進会議を実施し、課題の早期把握とその解決に努め、施設の魅力づくりや収入の確保、支出の抑制など経営改善を図りました。

ア スマートフォンやインターネットによるアンケートを実施し、利用者ニーズの把握に努めました。

イ JCDの経験や他施設の事例等のアドバイスにより、自動販売機ベンダーとの契約内容の改善、重要文化財を活用した集客事例の検討、また新しい窓口発券システムを導入し効率化を図りました。

ウ ショップデータを複数の視点で整理・分析したことで売上の傾向や課題を把握し売上アップに結びました。

エ JTBグループのリソースを活用して、団体営業販促ツールであるJTBオリジナル企画商品「地恵のたび」に引き続き参画し、全国から集客を図りました。

(2) 学校や各団体への取組

ア 鉄道の相互乗入れや圏央道の開通などを踏まえた北関東、東京都内、神奈川県内を中心にした学校や各団体、各旅行業者に対して訪問営業を実施しました。

イ 北海道、東北、関東、首都圏、中部、神奈川県内の小中高に約8,800件のダイレクトメールを発送しました。

ウ 横浜観光コンベンション・ビューロー主催の旅行社(阪急交通社、日本旅行)との商談会に参加し、営業PRを行いました。阪急交通社とはその後ツアーを企画し、多くのお客様にご参加いただきました。

エ 神奈川県が行っている京浜臨海部協議会へ参加し、3月に「親子で体験のりもの電車&船 ツアー」を実施しました。帆船日本丸でミニ展帆とロープワークの体験メニューを組みました。参加者の皆様に楽しんでいただきました。

オ 海洋都市横浜うみ協議会の一員として、「海洋都市横浜うみ博2017」に出展、また同博スタンプラリーに参加しました。

カ 横浜市温暖化対策統括本部のみなとみらい 2050 プロジェクトが、3月25日に実施したみなとみらいライトペインティングに参加しました。

キ 横浜開港祭のはまっこスクール海洋ランドにブース出展しロープワークの体験教室を実施しました。

ク 横浜市交通局主催の「はまりんフェスタ 2017」が新羽車両基地で行われ、「帆船ペーパークラフト教室」と物販（日本丸チョコロQ販売）で出展しました。

(3) 春限定親子割引チケットの発売

28年度に引き続き、春休み等に気軽に、かつお手ごろな料金で来館していただけるような設定で実施しました。

販売期間 平成30年3月6日～4月8日

(4) インバウンド（訪日外国人客）集客増に向けた取組

訪日外国人観光客獲得への取り組みとして、「多言語ガイドシステム」や

HP、Facebook等での情報発信力を高め集客に結びました。夏に実施した「Welcome to NIPPON MARU

and Yokohama Port Museum キャンペーン」では「japanguide.com」のサイトへ広告の掲載と英語チラシの配布を行い広報しました。

みなとみらい地区の4施設連携でミュージアム紹介の英語版チラシも作成しました。



Japanguide.com への広告

(5) 広告

対象を絞った情報誌に記事や広告を掲載し、集客増を図りました。

ア 柳原良平アートミュージアムオープンに合わせ、桜木町駅前に広告フラッグを掲示、メモリアルパーク内には懸垂幕及び横断幕を掲示してPRしました。

イ 夏休みの子ども工作など体験型事業を紹介する「かながわサイエンスサマー」に掲載しました。

ウ 学校修学旅行誘致用『月刊教育旅行』に掲載しました。

エ 観光客向けの「横浜ベイシティマップ」や「MM線マップ」へ情報掲載しました。

(6) 広報活動の強化

ア Web ページの更新、公式 Facebook やアプリのニュース等 SNS での広報活動を強化しました。利用者のニーズに合わせてホームページのリニューアルを3か年計画で開始しました。

イ 帆船日本丸の国重要文化財の指定及び「柳原良平アートミュージアム」

オープンに合わせ新聞、海事関連雑誌、一般雑誌、タウンニュース、観光情報サイト等へ積極的に働きかけました。

7 組織運営の質的向上に向けた取組

(1) 風通しの良い職場作り

職員一人ひとりが、必要な情報を共有できるよう、毎朝の朝礼での連絡事項の伝達、報告等を行いました。毎週木曜日には管理職業務調整会議を実施し、懸案や課題の解決を図るとともに、職員ミーティングを定例開催しました。

また、施設の委託業務を受託しスタッフを常駐させている警備、設備、清掃事業者と毎月1回委託業務連絡会を開催し、コミュニケーションを深め、施設の安全な維持・管理を図りました。

(2) 各種研修会の実施・参加

財団職員の能力開発・スキルアップや人権啓発、コンプライアンス等を目的に各種の研修会等を実施（延べ69人参加）するとともに、横浜市や他団体が主催する研修会等に参加しました。（延べ15人参加）

運営協力をいただいているボランティアの研修会も開催してスキルアップ等を図りました。（延べ120人参加）

(3) 防災訓練の実施



9月の防災訓練

9月28日の秋の訓練（23人参加）と1月26日の文化財防火デー（40人参加）に西消防署指導のもと、初期消火、情報伝達、避難誘導や屋内消火栓取扱い等の防災訓練を実施し、発災時対応の確認と減災意識の向上に努めました。

また、3月5日に日本丸メモリアルパークが実施会場になった、みなとみらい21地区内の合同防災訓練に4人が参加しました。

(4) コンプライアンス委員会の実施状況

外部委員も交え、常に適正な運営を行うためコンプライアンス委員会を実施しました。

ア 実施日

平成30年3月1日

イ 議題

(ア) 平成29年度業務監察指摘事項及び改善案について

(イ) 平成29年度事件・事故報告について

(ウ) 平成 29 年度研修の実施状況について

(5) アンケート調査（モニタリング）の実施

アンケート実施日及び回答数

11月 16 日（木）～19 日（日） 回答数 267 件

調査結果の主な内容は次のとおりとなりました。

ア 来場者の年齢

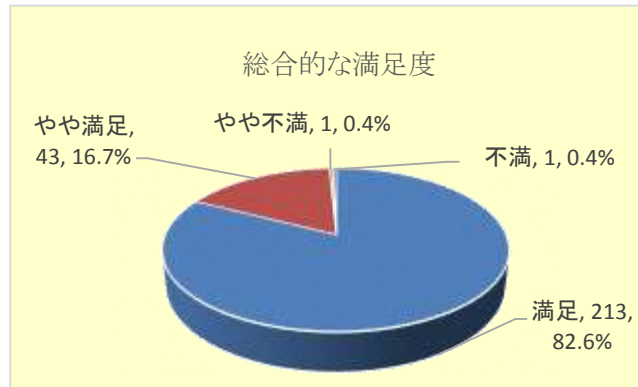
20 代の方が、昨年度の 9 人 3.7%に比べ 49 人 18.4%と大幅に増加しました。

イ 帆船日本丸進水 100 年までの保存・公開の賛否

賛成が 99.2%とその他の「もっと長く保存してほしい」0.4%を合わせて 99.6%と、昨年度（99.2%）と同様に支持を集めました。

ウ 総合満足度

満足・やや満足の合計が 256 人 99.3%、昨年度の 238 人 99.6%とほぼ同様な高評価を維持していました。



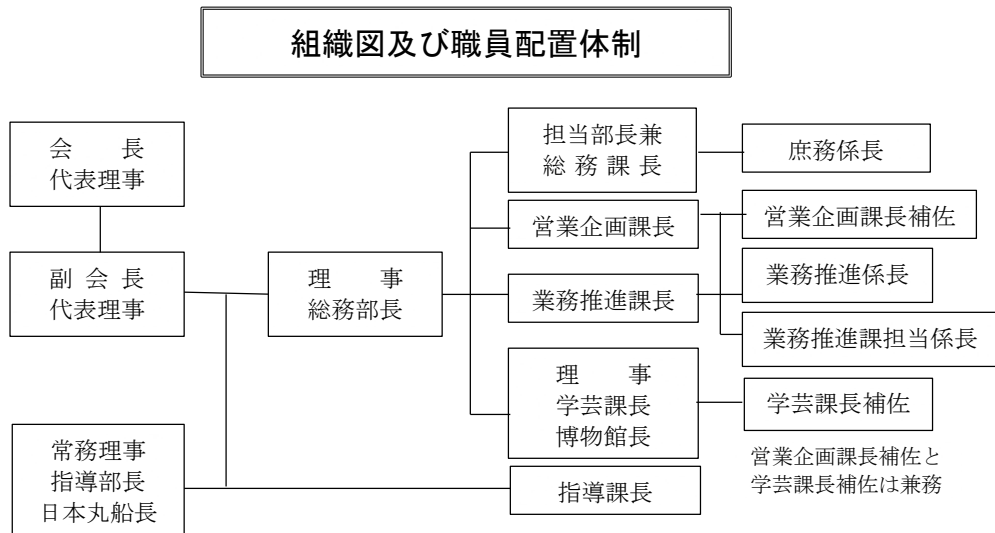
(6) 指定管理事業における提案事業の執行管理

第 3 期指定管理者（平成 28 年度～平成 32 年度）応募時に事業計画書により約 400 の事業を提案しました。昨年度作成した提案事業ごとの実施工程表に基づき、管理職及び関係職員で構成する管理会議で、執行状況の確認及び分析を実施しました。

8 管理執行体制

(1) 職員配置体制表

指定管理者の業務となる「日本丸メモリアルパーク施設」(以下「施設」という。)の管理運営については、次の職員配置体制で業務を執行しました。



業務内容	所 管		分担業務	所属員	備 考
総務管理業務	総務課	庶務係	庶務、経理、人事・労務、契約、給与、理事会等、市調整、売店	4名	アルバイト4名 売店運営
横浜みなと博物館管理運営業務	学芸課	学芸係	常設展示事業、特別展示事業、教育普及事業、調査・研究・収集・保存・出版活動事業、ライブラリー（資料閲覧室）事業	5名	アルバイト7名 ライブラリー、操船シミュレーター運営等
営業業務	営業企画課	営業企画係	広報宣伝集客誘致の企画実施、月次集客会議、入場料徴収、学校(市外)・旅行者営業、地域連携・イベント等	8名	アルバイト1名 旅行者営業・学校営業、市場調査、イベント企画、広報等
施設管理業務	業務推進課	業務推進係	学校関係(市内)・Webによる誘客、情報システム維持管理、緑地、施設維持管理、業務委託、訓練センター運営		アルバイト12名 受付、券売所、シーカヤック教室業務、訓練センター貸出管理業務全般
帆船日本丸管理運営業務	指導課		保存事業、公開事業、青少年錬成事業、教育普及事業	10名	
計				26名	※兼務1名有 他に役員4名有

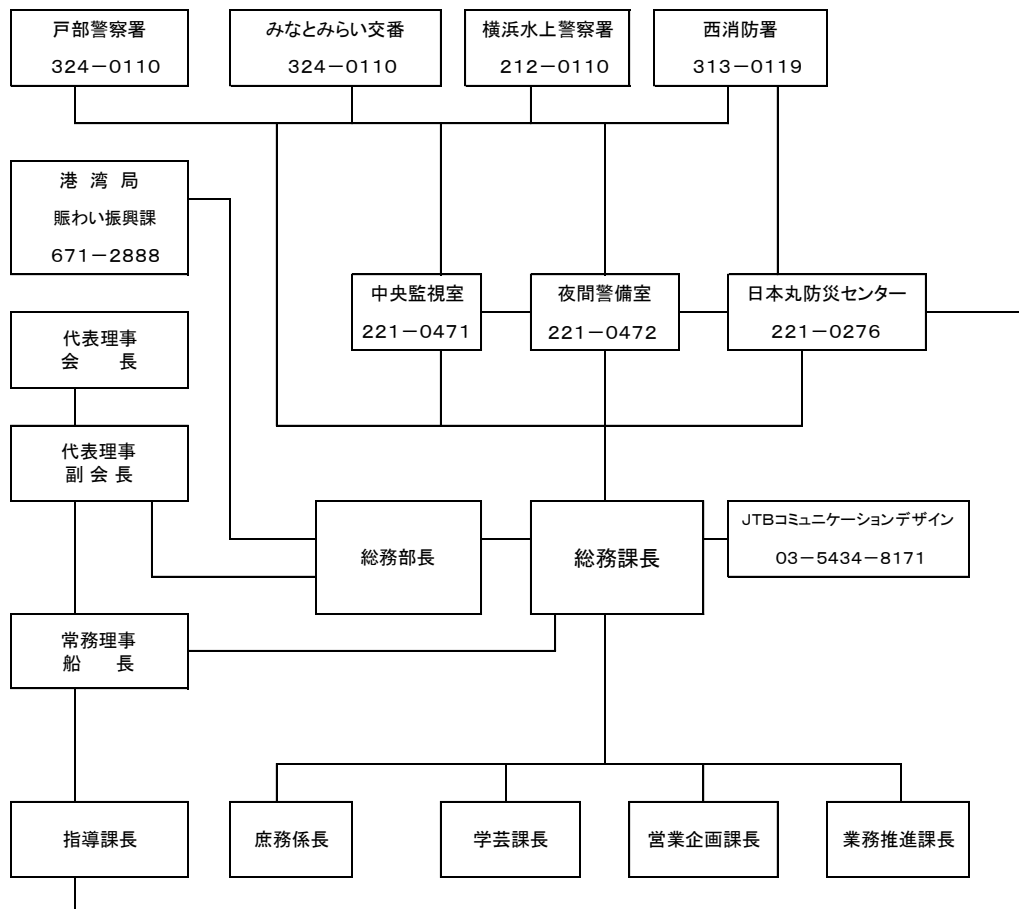
(2) 責任体制

次の責任体制で効率的な業務執行を図りました。

課名	業務責任者	指定管理業務
総務課	総務課長	庶務、経理（契約入札含む）、人事、給与、売店等運営、
学芸課	学芸課長	横浜みなと博物館事業、常設展示事業、教育普及事業、調査・研究・収集・出版活動事業、ライブラリー事業
営業企画課	営業企画課長	広報宣伝集客誘致の企画実施、月次集客会議、入場料徴収、学校(市外)・旅行業者営業、地域連携・イベント等
業務推進課	業務推進課長	学校関係(市内)・Webによる誘客、情報システム維持管理、緑地、施設維持管理、業務委託、訓練センター運営等
指導課	指導課長	帆船日本丸事業保存事業、公開事業、青少年錬成事業、教育普及事業

(3) 緊急連絡体制

緊急時に備え次の連絡体制を設置しました。



9 事業一覧表

【帆船日本丸事業】	
帆船日本丸公開 4月～3月	船内を年間 293 日一般公開、公開日は次の日を除く毎日 ・月曜日（祝日にあたる時は公開、翌日が休館日） ・年末（12月29日から12月31日まで） ・船体整備（1月29日から2月20日まで）
総帆展帆（11回） 延べ1,100人のボランティアが参加	4月16日（日）、4月29日（土・祝）、5月14日（日）、 5月28日（日）、6月11日（日）、7月17日（月・祝）、 8月20日（日）、9月3日（日）、9月23日（土・祝）、 10月9日（月・祝）、11月12日（日）
親子展帆	親子展帆 11回実施（参加者362人）
満船飾（13回） 国民の祝日に実施	5月3日（憲法記念日）、5月4日（みどりの日）、5月5日（こどもの日）、6月2日（開港記念日）、7月17日（海の日）、 8月11日（山の日）、9月18日（敬老の日）、9月23日（秋分の日）、10月9日（体育の日）、11月3日（文化の日）、12月23日（天皇誕生日）、1月8日（成人の日）、1月27日（進水記念日）
海洋教室	半日・1日コース合計13回 参加者463人 半日コース：6月23日 25人、7月11日 16人、7月30日 26人、 8月5日 36人、8月8日 40人、8月22日 21人、10月25日 99人、 3月17日 27人、3月27日 19人 1日コース：7月26日 30人、9月29日 86人、10月7日 32人、 11月17日 6人 宿泊コース合計13回 参加者835人 4月13日～14日 69人、5月10日～11日 65人、5月18日～19日 27人、 5月25日～26日 43人、6月3日～4日 22人、6月8日～9日 66人、 6月15日～16日 51人、6月21日～22日 60人、7月1日～2日 97人、 7月8日～9日 99人、10月26日～27日 42人、3月3日～4日 98人、 3月10日～11日 96人
教育普及事業	実施回数10回、参加者105人 日本丸でロープを学ぼう！作ろう！ 8月1日～4日 59人 夏休み特別講座 船の速さを計ろう 8月6日 9人 日本丸船長による船の講座 11月5日 2人 日本丸船長による船の講座 12月10日 10人 新春お年玉船内探検 1月6日 8人 新春特別未公開ゾーン見学会 1月21日 14人 日本丸修繕工事見学会 2月3日 3人
総帆展帆協力者登録数	延べ2,264人 総帆展帆協力者として登録されている市民ボランティア
帆船日本丸船内ガイド	48人 登録ボランティアによる船内ガイドを実施

甲板清掃ボランティア等	174 日の作業日に延べ 881 人のボランティアがブラスワーク（真ちゅう磨き）や整備作業を実施。また、ベンディング・アンベンディングに 4 日間延べ 229 人のボランティアが参加。
-------------	--


【横浜みなと博物館事業】	
常設展示事業 4 月～3 月	次の日を除く毎日公開 月曜日（祝日にあたる時は公開、翌日が休館日） 年 末（12 月 29 日から 12 月 31 日まで） 害虫燻蒸期間（1 月 29 日～2 月 2 日）
展示案内 4 月～3 月	展示案内ボランティア（登録ボランティア 33 人）による常設展示の説明
柳原良平アートミュージアム事業	<p>3月26日 完成記念式典、内覧会 3月27日 オープン</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>オープン記念ウイークイベント（～4月8日） 各日先着200名様ご記念品贈呈（3月31日除く） トリスのハイボールバー開設 （館内レストラン、サントリー協賛）</p> </div> <p>特集展示 アンクルトリス誕生60年（～7月8日）</p> <p>3月31日 オープン記念横浜市民無料デー 入場者 3,586 人 出版物制作 柳原良平アートミュージアムリーフレット、同内覧会用図録、同販売用図録 柳原良平アートミュージアムオープンに伴う常設展示室整備 博物館入口を地下1階から1階へ移動、サイン設置 広報・広告 パーク内に懸垂幕・横断幕設置、桜木町駅前にフラッグ設置（3月27日～4月2日）、桜木町駅前広場にてチラシ配布（3月27日～4月1日）、タウンニュース（全区）広告記事掲載（3月15日）、京浜急行中刷り広告掲出（3月22日～4月8日） 記念品販売 柳原良平グッズ新規製作・販売（モバイルクリーナー、オリジナルフレーム切手セット、缶バッジ、ピンバッジ、ポストカード）、リトグラフ、絵本／ピンバッジプレゼントキャンペーン実施 その他 （株ありあけとの提携によりハーバー・柳原良平アートミュージアムオリジナルパッケージ販売、アンクル船長オリジナルキャンディ制作</p>

<p>特別展示事業</p>	<p>1 「東日本大震災 第6回 石巻かほく復興写真展」 会期：6月24日（土）～7月2日（日） 語り部さんのミニトーク：6月24日（土）・25日（日）・7月1日（土）・2日（日）7回開催56人</p> <p>2 企画展「国重要文化財指定記念 帆船日本丸の航跡」 会期：7月15日（土）～9月3日（日）6,080人 関連行事：記念シンポジウム「近代の文化・産業遺産 帆船日本丸の重要文化財指定」（講師：地主智彦文化庁文化財調査官、大野敏横浜国立大学大学院教授、中山俊介東京国立文化財研究所文化遺産国際協力センター長、飯田敏夫帆船日本丸記念財団常務理事・帆船日本丸船長）7月22日（土）64人／記念講演会「帆船日本丸物語」（講師：荒川博元運輸省航海訓練所長、山崎洋子作家）8月19日（土）89人／記録映画会「映像で見る帆船日本丸の航跡」（解説：飯田敏夫帆船日本丸記念財団常務理事・帆船日本丸船長）8月26日（土）104人／企画展フロアガイド7月16日（日）、8月27日（日）、9月3日（日）計42人</p> <p>3 企画展「江戸へ魚を送れ！一漁場としての横浜周辺の海」 会期：10月7日（土）～11月26日（日）6,005人 関連行事：「横浜の魚を体験一親子お魚料理教室」10月14日（土）23人／記念講演会「環東京湾の魚食文化」（講師：小泉武夫東京農業大学名誉教授）10月28日（土）75人／親子さかなクン教室「ギョギョっと！豊かな東京湾の魚たち」講師：さかなクン（東京海洋大学名誉博士）11月4日（土）214人／「横浜の漁業を知る一海苔工場見学会」11月8日（水）24人／企画展フロアガイド11月11日（土）、11月26日（日）計43人</p> <p>4 「ずっと港のまんなかにも 新港ふ頭展」 会期：2月17日（土）～4月15日（日）8,746人 関連行事：「なるほど！新港ふ頭散歩」3月31日（土）17人／フロアガイド2月25日（土）、3月24日（土）、4月15日（日）計59人</p>
<p>教育普及事業</p>	<p>教育普及ボランティアの協力を得ながら次の事業を実施（登録人数20人）</p> <p>1 横浜みなとキッズクラブ 横浜みなと博物館や日本丸、内水域、横浜港をフィールドにした体験型活動を同じメンバーで1年を通して行い、身近なところから海と船と港、くらしと環境などに親しみと関心を深め</p>

	<p>る小学生（高学年）向け事業。延べ 217 人 ワークシートを使った博物館・日本丸・パーク探検・造船所見学会、工作教室、シーカヤックなどを 7 回実施し、活動結果を館内に展示。</p> <p>また、活動の中で作成した新聞を応募し、(公財)日本海事広報協会ジュニア・ SHIPPING・ジャーナリスト賞(佳作)を受賞。</p> <p>2 カンタン! 船の工作教室 5 月 3 日(祝・水) 213 人 3 ソーラーで動く船工作教室 7 月 28 日(金) 66 人 4 ポンポン船工作教室 7 月 27 日(木) 54 人 5 モーターで動く船工作教室 7 月 29 日(土)・30 日(日) 97 人 6 船と港の夏休み自由研究 8 月 11 日(金・祝)～20 日(日) 77 人 7 親子の海図教室 7 月 12 日(土) 141 人 8 大人の海図教室 11 月 18 日(土) 35 人 9 なるほど! ミナト散歩ー開港の道コースー 6 月 17 日(土) 23 人 10 春休み・親子の楽しい船の見学会 3 月 26 日(日) 35 人 11 キッズのためのクイズラリー(小・中学生向け/年間) 高校生以下共通券 100 円の土曜日の小・中学生向け事業。展示をよく見て答えるクイズラリーを実施。41 回 2,220 人 12 楽しい船の折り紙教室(こども向け) 51 回 2,686 人 13 学芸員のワンポイント展示解説 学芸員が常設展示を掘り下げて解説 8 回 59 人 14 みなと博館長トーク 館長が海・船・港について解説 4 回 33 人 15 サンデーペーパークラフト教室(ファミリー向け) 全 48 回 2,482 人 16 大人のためのクイズラリー(大人向け) 5 回 558 人 17 ホリデーペーパークラフト教室(ファミリー向け) 5 回 343 人 18 ホリデー船の折り紙教室(ファミリー向け) 7 回 430 人</p>
<p>調査・研究・収集・出版 活動事業</p>	<p>1 資料調査・研究等事業 横浜港を中心とした資料の調査、研究、収集、整理、保存を行い、その成果を公開及び展示・教育活動に反映。また、資料整理のデータベース化を推進。 寄贈 1,009 点、購入 179 点、採集 167 点</p>

	<p>2 出版活動 年間行事予定表、企画展に合わせた図録等を出版。</p> <p>3 資料貸出し・レファレンス 資料の貸出・閲覧、写真撮影のほか、レファレンスサービスを実施。 資料特別利用：苫小牧市美術博物館、国土交通省関東地方整備局港湾空港部など 14 件 資料貸出：日本郵船歴史博物館、清水港湾博物館など 42 件、799 点、画像などを貸出。</p>
ライブラリー事業	<p>横浜港や船、海に関する図書・逐次刊行物等を収集・整理・公開し、小学生から専門家に学習、研究の場を提供。 データベース化の蔵書情報はライブラリー、ホームページで公開。</p> <p>1 公開日・公開時間 博物館と同様</p> <p>2 利用方法（料金等） 博物館の入館者の利用は無料。ライブラリーのみ利用は 1 人 100 円。コピーサービス（有料）のほか、レファレンスサービスを実施。</p> <p>3 収集・整理 横浜港、港運、海運、船舶、航海等に関する図書、逐次刊行物等を収集（購入 94 冊・寄贈 255 冊）・整理して配架しました。 また、図書のデータベース化（約 24,120 冊）を進めるとともに、保守点検を行い、良好な状態を維持。</p>
施設外部貸出	<p>1 特別展示室 国土交通省関東地方整備局港湾空港部、横浜市会芸術・文化議員懇談会、横浜帆船模型同好会 計3件</p> <p>2 常設展示室1階展示スペース 関東海事広報協会、横浜海上保安部 計2件</p>
その他	<p>大学の博物館見学実習への対応や出張講演などの館外活動を実施 3件 79人</p>

【みなとの賑わい創出事業】	
<p>水辺の事業</p> <p>シーカヤック教室 カヌーポロ教室 カヌーポロ大会</p>	<p>水辺の事業の柱として、水域及び汽船道側静水域で、シーカヤック教室、カヌーポロ教室、カヌーポロ大会を開催。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 シーカヤック教室の通年開催 98回の開催で965人が参加、利用料金は前年度比120% 2 カヌーポロ教室の開催（おとなは新規） 10回の開催で92名が参加 3 第6回帆船日本丸杯カヌーポロ大会（関東ポロリーグ神奈川大会）の開催 10月28日（土）～29日（日）※29日は中止 12チーム83名が参加
<p>パーク利用事業イベント</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 フリーマーケット13回（雨天・荒天中止4回） 2 吹奏楽演奏会13回（実施11回、雨天中止2回） 3 ゴールデンウィークイベント（ファミリー向け）音楽、参加体験事業・工作教室 4 ファミリー向けを意識したライブステージ 5 横浜市のプロモーション事業 積極的な誘致と連携した開催 「ピカチュウだけじゃない ピカチュウ大量発生チュウ!」「横浜市パーソナルモビリティツアーの実験」「ONE PIECE ドラマティックステージ THE METAL」公開デジタルスタンプラリーなど 6 神奈川県関係イベント「かながわミルクフェスティバル」 7 クリスマスイベント、子ども向けワークショップ等 8 冬のクリスマスイルミネーション 9 進水記念祭（無料開放） 10 アースアワー関連イベント 「みなとみらい21地区 竹から生まれる光～和みのみなとみらい～」 「WWF Earth Hour2018 in YOKOHAMA」
<p>緑地の維持管理・活用</p>	<p>パーク来場者及び地区来街者向けの景観向上、賑わいの創出。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 全国都市緑化よこはまフェア開催期間中の協力 <ol style="list-style-type: none"> (1) 博物館屋上芝生へのハート形の花植栽 (2) サクラコンテナ・花コンテナの配置 2 撮影 利用件数210件、前年度比153% 利用料金前年度比130% <div data-bbox="1066 1384 1423 1637" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="1098 1644 1398 1711">グリーンボランティアによる屋上芝生の手入れ</p>

<p>グリーンボランティア</p>	<p>近隣地域住民を中心として日本丸メモリアルパークの緑花整備に理解ある協力者9名（登録者数）が、年間を通じてボランティア活動を行いました。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 活動日（毎月第1・第3土曜日午前中） 2 主な活動内容 <ol style="list-style-type: none"> (1) パーク内花壇／植栽プランターの手入れ 訓練センター前、チケット販売所前 (2) 横浜みなと博物館 屋上芝生の手入れ (3) 博物館ショップ 「緑のカーテン」づくり 3 その他の活動 さくら通り「みなとみらい街かど花壇」づくり  <p style="text-align: center;">緑のカーテン</p>
<p>研修施設（訓練センター）の管理運営</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 貸出期間 12月29日～1月3日、1月29日～30日、2月26日を除く全期間 2 空き情報等 Web での情報提供 3 リーフレット日本丸メモリアルパーク「貸教室・会議室案内 29年度版」の発行および30年度の利用案内改定に伴う新規リーフレットの作成・発行 4 年間稼働率 第1・第2教室 62.3%、第3教室 59.3%、小会議室 44.6% 5 利用料金前年度比 106%
<p>【集客増に向けた重点取組】</p>	
<p>団体への取組</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 タイムリーな情報発信・訪問営業の継続 <ol style="list-style-type: none"> (1) 横浜市内、神奈川県内の学校遠足・学校行事等誘致 (2) 首都圏小・中・高等学校遠足、社会見学の誘致 (3) 全国からの修学旅行誘致のための情報発信の継続 月刊「修学旅行」への継続的な広告掲載 (4) 横浜観光コンベンションビューローの教育旅行誘致事業 (5) 新幹線開通を考慮した営業 (6) 北関東等を中心とした学校・団体・旅行各社への営業等 2 来館誘致資料 <ol style="list-style-type: none"> (1) 関東近県や首都圏を修学旅行候補地としている北海道、東北、中部などの小・中学校（一部高等学校）に来館誘致のダイレクトメール発送（8,800件） (2) 配布資料は地域や学校種（小・中・高・特別支援学校）それぞれの特性に応じて内容を工夫 (3) 営業用資料を別途作成し、いつでも携行できるよう準備し活用（旅行社・学校・教育委員会向け） 3 Web での情報提供と下見 <ol style="list-style-type: none"> (1) 団体向け、学校向け Web ページ等を常時更新 (2) 横浜市のふれあいコンサート向け Web ページ開設 (3) 下見の重視と配布資料の改善

	<p>4 料金施策 単館券の通年販売</p> <p>5 旅行会社向け取組 旅行会社（JTB等）、鉄道各社旅行部門（JR東日本等）へ定期的に情報発信し、個人・団体観光客への情報提供及び集客チャネルとして連携強化</p> <p>6 訪日観光客誘致の取組と多言語ガイドシステムのPR 横浜観光コンベンションビューローと連携し、海外で開催される観光展などで海外メディアへの情報提供</p>
<p>横浜市・近隣施設等との連携</p>	<p>1 施設の認知度の向上による来館促進</p> <p>(1) 西区を始めとした地域の市民活動支援センターの利用団体、子育て支援拠点、老人クラブなどへの施設情報・イベント情報の提供</p> <p>(2) 各区のイベントと連携</p> <p>2 観光客（宿泊客）の来館を促進</p> <p>(1) 近隣ホテルの宿泊者向け割引チラシの配布</p> <p>(2) 宿泊プランの企画提案</p> <p>(3) 当館の情報提供</p> <p>3 イベントや展覧会等の共同実施及び告知 (近隣施設連携による相互来館促進)</p> <p>(1) 海も山もよくばりスタンプラリー（野毛山動物園）</p> <div data-bbox="699 1093 1197 1370" data-label="Image"> </div> <p>海も山もよくばりスタンプラリー相互展示</p> <p>(2) 横浜乗りものフェスティバル（クイズラリー） 原鉄道模型博物館・日産グローバル本社ギャラリー、三菱みなとみらい技術館・日本郵船歴史博物館</p> <p>(3) みなと春 MARCH キャンペーンに参加、イベント情報を広報</p>

(4) 海と山と丘の公園交流

日本丸メモリアルパーク（横浜市）、神奈川県立相模原公園（相模原市）、国営アルプスあづみの公園（長野県安曇野市・長野県大町市）の3公園交流

ア 相模原公園&日本丸メモリアルパーク&あづみの公園共同写真展（7月～11月）



相模原公園写真コンテストのテーマ、サンパチェンスの花壇を日本丸メモリアルパークにて展示

イ 相模の大凧ミニチュア展示（1月）



横浜みなと博物館1階フリーゾーンに相模の大凧ミニチュアを展示

【組織運営の質的向上に向けた取組】

各種研修会の実施及び参加

主催部分の財：財団、他：市又は団体

月 日	研 修 名	参加者数	主催
4月1日	新採用研修（コンプライアンス・人権・個人情報・経理・文書）	5人	財
4月8日 4月9日 4月22日	春期新規展帆ボランティア養成訓練	13人	財
4月9日	展帆ボランティアリフレッシュ訓練	9人	財
4月9日	平成29年度教育活動ボランティアテスト	2人	財
4月13日	新採用研修（横浜みなと博物館バックヤードツアー）	6人	財
4月14日	博物館ボランティア館外研修	26人	財
4月24日	クレーン及び玉掛け内部研修（指導部職員）	8人	財
6月15日	資産運用セミナー	1人	他
6月20日	第2回県博物館協会研修	1人	他
8月22日	行政対象暴力対策研修会	1人	他
10月14日 10月15日 10月21日	秋期新規展帆ボランティア養成訓練	15人	財
11月8日	横浜市指定管理者による事例発表会	2人	他
11月17日	秋季博物館ボランティア館外研修	27人	財
11月20日	第2回ウオーターフロント研究会	1人	他
12月13日	平成29年度企業人権啓発講演会	1人	他
12月13日	みなとの博物館ネットワーク・フォーラムスキルアップ交流会	2人	他
12月18日	神奈川県公益社団・財団法人研修会	1人	他
1月15日	神奈川県公益社団・財団法人研修会（会計 応用編）	1人	他
1月17日	第3回差別と人権を考える横浜市民講演会	1人	他
1月24日	浜銀総合研究所講演会	2人	他
1月31日	企業向けセミナー	1人	他
1月31日	展示案内ボランティアリフレッシュ研修	14人	財
2月1日	展示案内ボランティアリフレッシュ研修	10人	財
2月2日	教育活動ボランティアリフレッシュ研修	4人	財
2月21日 2月23日 2月27日	職員研修（コンプライアンス・人権・個人情報・経理・文書）	50人	財
3月9日	日本フローティングシップ協会研修会	2人	他

10 指定管理業務の収支状況

平成 29 年度 収支決算書

平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日まで

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異
I 事業活動収支の部			
1 事業活動収入			
① 基本財産運用収入	9,064,000	12,680,785	△ 3,616,785
② 利用料金収入	51,695,000	52,436,320	△ 741,320
観覧料収入	32,825,000	29,299,750	3,525,250
ミュージアム特別展示室使用料	1,080,000	304,500	775,500
研修施設使用料	7,373,000	9,010,280	△ 1,637,280
緑地使用料	2,947,000	6,789,370	△ 3,842,370
海洋教室等収入	7,470,000	7,032,420	437,580
③ 受託事業収入	300,328,000	300,328,000	0
④ 自主事業収入	24,429,000	29,507,813	△ 5,078,813
シーカヤック事業収入	3,535,000	3,365,060	169,940
利用料金関連収入	3,950,000	3,859,974	90,026
自販機手数料収入	11,000,000	11,357,287	△ 357,287
賃借料等収入	5,944,000	10,925,492	△ 4,981,492
⑤ 記念品販売収入	16,000,000	13,108,287	2,891,713
⑥ 補助金収入	5,000,000	4,182,312	817,688
⑦ 寄附金収入	5,000,000	5,444,451	△ 444,451
⑧ 雑収入	1,036,000	3,145,067	△ 2,109,067
事業活動収入計	412,552,000	420,833,035	△ 8,281,035
2 事業活動支出			
① 施設運営事業費支出	370,329,000	352,451,053	17,877,947
(1) 帆船日本丸事業費支出	172,572,000	165,082,066	7,489,934
ア 保存事業費	102,155,000	101,822,528	332,472
イ 公開事業費	54,852,000	54,280,292	571,708
ウ 青少年練成事業費	15,565,000	8,979,246	6,585,754
(2) 横浜みなと博物館事業費支出	152,545,000	134,954,877	17,590,123
(3) 緑地事業費支出	45,212,000	52,414,110	△ 7,202,110
② 指定管理者管理費支出	48,156,000	50,964,870	△ 2,808,870
③ 自主事業費支出	18,043,000	11,388,207	6,654,793
(1) シーカヤック事業費支出	8,598,000	2,607,466	5,990,534
(2) 自主事業管理費支出	9,445,000	8,780,741	664,259
④ 売店事業費支出	15,014,000	16,949,830	△ 1,935,830
事業活動支出計	451,542,000	431,753,960	19,788,040
事業活動収支差額	△ 38,990,000	△ 10,920,925	△ 28,069,075

II 投資活動収支の部			
1 投資活動収入			
① 特定資産取崩収入	0	1,858,900	△ 1,858,900
(1) 退職給付引当資産取崩収入	0	958,900	△ 958,900
(2) 受入保証預かり収入	0	900,000	△ 900,000
投資活動収入計	0	1,858,900	△ 1,858,900
2 投資活動支出			
① 特定資産取得支出	1,419,000	2,131,200	△ 712,200
(1) 退職給付引当資産取得支出	1,419,000	1,231,200	187,800
(2) 受入保証金支出	0	900,000	△ 900,000
② 固定資産取得支出	0	6,828,948	△ 6,828,948
(1) 船舶購入支出	0	203,688	△ 203,688
(2) 工具器具備品購入支出	0	1,249,020	△ 1,249,020
(3) 展示品購入支出	0	432,000	△ 432,000
(4) 建設仮勘定支出	0	4,298,400	△ 4,298,400
(5) 公共施設負担金取得支出	0	645,840	△ 645,840
投資活動支出計	1,419,000	8,960,148	△ 7,541,148
投資活動収支差額	△ 1,419,000	△ 7,101,248	5,682,248

III 財務活動収支の部			
1 財務活動収入			
財務活動収入計	0	0	0
2 財務活動支出			
① リース債務支払支出	693,000	693,000	0
財務活動支出計	693,000	693,000	0
財務活動収支差額	△ 693,000	△ 693,000	0

指定管理業務 収入合計	412,552,000	422,691,935	△ 10,139,935
指定管理業務 支出合計	453,654,000	441,407,108	12,246,892
当期収支差額	△ 41,102,000	△ 18,715,173	△ 22,386,827